

■将来像ごとの客観指標・主観指標

客観指標数74・主観指標数54 合計128

(1) 自立(将来像1)

客観指標数15・主観指標数8 合計23

基本項目	指標		【基準年】 平成22年(度)	平成23年 (度)	平成24年 (度)	平成25年 (度)	平成26年 (度)	平成27年 (度)	平成28年 (度)	平成29年 (度)	平成30年 (度)	令和元年 (度) ※1	基準年と最新年 の比較 ※2	全県値との比較 (R元 主観指標)		出典
	名称等	指標の内容												全県値	評価 ※3	
①魅力あふれる「地域資源」	客観	国・県指定重要文化財の数	22年度 146件	146件	147件	147件	154件	156件	157件	162件	162件		↗			県教委調査
		恐竜化石関連施設への来訪者数	22年度 48,767人	59,571人	59,608人	74,679人	76,950人	97,782人	104,275人	114,303人	113,296人		↗			県調査
	主観	住んでいる地域に誇りや愛着を感じる人の割合	22年度 47.4%	57.8%	46.8%	62.7%	66.2%	67.1%	63.0%	68.9%	68.8%	69.2%	↗	66.2%	☺	県民意識調査
		住んでいる地域には、自慢したい「宝」(風景や産物、文化など)があると思う人の割合	22年度 51.7%	63.1%	49.3%	50.8%	53.9%	51.3%	50.9%	55.4%	53.4%	52.6%	→	51.6%	☺	県民意識調査
		地域資源を生かしたビジネスや地域づくりが進んでいると思う人の割合	—	—	—	20.3%	17.0%	16.3%	20.2%	20.4%	20.3%	18.8%	↘			県民意識調査(丹波)
②地域を担う「人材」	客観	社協ボランティアセンターへの登録・活動把握者数	22年度 7,147人	7,197人	8,123人	—	3,149人	6,226人	6,211人	6,226人	5,229人		↘			県内社協活動の現況
		丹波の森大学受講者数	22年度 86人	81人	76人	50人	50人	46人	53人	51人	49人		↘			丹波の森公園調査
		関西学院大学柏原スタジオにおけるフィールドワーク参加者	22年度 248人	278人	323人	233人	259人	288人	272人	274人	176人		↘			県調査
		地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」参加事業所数	22年度 445社	488社	448社	473社	438社	438社	464社	407社	447社		↗			県教委調査
		地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」参加ボランティア数	22年度 637人	769人	700人	872人	757人	618人	567人	595人	524人		↘			県教委調査
		地域に活かす「トライやる」アクションの参加生徒数	22年度 809人	1,192人	1,184人	1,545人	1,380人	1,306人	988人	1,390人	1,095人		↗			県教委調査
	主観	住んでいる地域をより良くしたり、盛り上げたりする活動に参加している人の割合	—	—	—	43.5%	46.0%	45.4%	46.1%	47.8%	49.0%	49.4%	↗	36.3%	☺	県民意識調査
		ボランティアなどで社会のためになる活動をしている、又はしてみたい人の割合	22年度 39.5%	45.2%	42.3%	32.7%	47.4%	44.7%	40.1%	45.1%	42.3%	40.7%	↗	34.5%	☺	県民意識調査
		住んでいる地域のことに関心がある人の割合	—	—	—	67.3%	79.6%	76.7%	72.2%	74.7%	74.4%	68.6%	↗	72.7%	▼	県民意識調査
		地域づくりの担い手が育っていると感じる人の割合	—	—	—	32.8%	27.8%	23.9%	23.5%	23.6%	25.1%	18.3%	↘			県民意識調査(丹波)
③地域で活動する「団体」	客観	NPO法人数	22年度 43団体	45団体	51団体	55団体	58団体	60団体	64団体	65団体	68団体		↗			県調査
		社会福祉協議会登録ボランティア団体数	22年度 373団体	306団体	335団体	—	298団体	242団体	280団体	242団体	246団体		↘			県内社協活動の現況
		学生等による地域貢献活動推進事業の実施団体数	—	—	4団体	4団体	4団体	8団体	8団体	8団体	10団体		↗			県調査
		県民緑税を活用した植樹や芝生化などの緑化活動を行う事業を実施している住民団体等の数	22年度 5団体	4団体	6団体	14団体	11団体	10団体	12団体	11団体	11団体		↗			県調査
		緑化資材提供事業等の実施団体数	22年度 67団体	75団体	80団体	60団体	53団体	48団体	55団体	55団体	47団体		↘			県調査
		「ひょうごアドプト」の団体数	22年度 18団体	21団体	24団体	25団体	25団体	30団体	29団体	34団体	31団体		↗			県調査
		丹波の森公園生活創造グループ登録数	22年度 205団体	232団体	255団体	272団体	284団体	120団体	144団体	158団体	171団体		↘			丹波の森公園調査
		主観	地域の自治会や地域で活動している団体に活気があると感じる人の割合	—	—	—	43.5%	41.3%	37.8%	41.3%	32.4%	39.2%	37.1%	↘		

※1: 主観指標(平成30年)について、県下地域別で最高値のものは網掛、最低値のものは白抜きで表示

※2: 基準年と最新年の比較は、平成22年度(統計結果が無い場合はその直前年度)と最新年度を比較し、向上を「↗」、低下を「↘」で表示。ただし、1%未満の変動は「→」で表示。

※3: 全県値との比較は丹波地域の値が全県値より上位のものは「☺」、下位のものは「▼」で表示

(2) 交流 (将来像2)

客観指標数10・主観指標数11 合計21

基本項目	指 標		【基準年】 平成22年(度)	平成23年 (度)	平成24年 (度)	平成25年 (度)	平成26年 (度)	平成27年 (度)	平成28年 (度)	平成29年 (度)	平成30年 (度)	令和元年 (度) ※1	基準年と最新年 の比較 ※2	全県値との比較 (R元 主観指標)		出 典	
	名 称 等	指標の内容												全県値	評価 ※3		
① 特色豊かな「自然・環境」	客観	二酸化窒素（NO ₂ ）濃度（日平均値の年間98%値）	窒素酸化物（大気汚染物質）の一種である二酸化窒素の濃度（1年間のうち濃度が高かった日に着目）	22年度 0.011ppm	0.010ppm	0.010ppm	0.011ppm	0.010ppm	0.010ppm	0.009ppm	0.010ppm	0.010ppm		↗			県調査
		浮遊粒子状物質濃度（日平均値の2%除外値）（SPM）	物の燃焼等に伴い発生する煤塵等の粉砕や自動車の走行に伴って飛散する粉塵など大気中に浮遊する粒径10μm以下の粒子状物質の濃度（1年間のうち濃度が高かった日に着目）	22年度 0.046mg/m ³	0.041mg/m ³	0.051mg/m ³	0.051mg/m ³	0.052mg/m ³	0.043mg/m ³	0.045mg/m ³	0.044mg/m ³	0.054mg/m ³		↘			県調査
		河川BOD（生物化学的酸素要求量）の75%値	河川での有機物による水質汚濁の指標の年間測定結果が環境基準に適合しているどうか評価するもの	22年度 0.9mg/L	1.8mg/L	1.2mg/L	0.7mg/L	0.6mg/L	0.5mg/L	<0.5mg/L	0.6mg/L	<0.5mg/L		↗			県調査
		生活排水処理率	下水道や農業集落排水・コミュニティプラント・浄化槽などによる生活排水の処理率	22年度 98.9%	98.9%	99.2%	99.2%	99.2%	99.3%	99.3%	99.3%	99.4%		↗			県調査
	主観	ごみの分別やリサイクルに協力している人の割合		22年度 92.6%	95.4%	95.1%	94.5%	91.9%	95.4%	93.5%	91.7%	90.7%	91.3%	↘	91.2%	☺	県民意識調査
		日頃から節電に取り組んでいる人の割合		22年度 83.9%	88.1%	85.4%	84.4%	83.0%	82.0%	81.3%	80.3%	78.6%	76.1%	↘	77.9%	▼	県民意識調査
		製品を購入する際に、環境に配慮したものを選んでる人の割合		22年度 62.6%	65.2%	57.9%	65.3%	65.1%	64.6%	60.7%	59.6%	60.3%	53.9%	↘	54.6%	▼	県民意識調査
		住んでいる市・町の自然環境は守られていると思う人の割合		22年度 65.3%	74.2%	70.7%	67.7%	54.1%	52.1%	48.7%	57.3%	56.2%	50.4%	↘	47.3%	☺	県民意識調査
		住んでいる地域のまちなみはきれいだと思う人の割合		—	—	—	55.3%	60.8%	51.9%	54.9%	60.1%	65.9%	61.6%	↗	63.4%	▼	県民意識調査
		山林や川、海などの自然環境を守るための取り組みに参加している人の割合		—	—	—	24.4%	31.8%	27.4%	35.7%	42.0%	35.2%	37.4%	↗	30.1%	☺	県民意識調査
太陽光など「再生可能エネルギー」を利用する取組に参加している、または参加したいと思う人の割合		22年度 35.8%	43.1%	35.0%	61.4%	35.7%	27.4%	26.8%	22.8%	18.6%	21.4%	↘	21.1%	☺	県民意識調査		
② 地域資源を活かした「学び・体験」	客観	環境学習の参加者数	恐竜・ほ乳類化石環境学習プログラムと丹波地域の森・川を活用した環境学習プログラムに参加した人の数	22年度 1,293人	1,779人	1,952人	2,394人	1,813人	1,539人	1,919人	1,675人	1,748人		↗			県調査
		恐竜化石関連施設への来訪者数	恐竜化石発掘現場・丹波竜化石工房ちーたんの館・元気村かみくげ・丹波並木道中央公園・太古のいきもの館への来訪者数	22年度 48,767人	59,571人	59,608人	74,679人	76,950人	97,782人	104,275人	114,303人	113,296人		↗			県調査
	主観	住んでいる市・町では、自然の生き物（動物・植物）とふれあう機会があると思う人の割合		—	—	—	58.0%	45.3%	49.6%	40.1%	46.5%	45.2%	40.6%	↘	37.4%	☺	県民意識調査
③ 都会に近い田舎を活かした「交流」	客観	楽農生活交流人口（交流施設利用者数）	ひょうご農林水産ビジョンに位置づけられている交流施設の利用者数	22年度 1,733千人	1,675千人	1,846千人	1,804千人	1,082千人	1,766千人	1,749千人	1,780千人	1,647千人		↘			県調査
		企業の森・里づくりにおける集落と企業の協定数	里山での間伐・枝打ち、交流会等を連携して行うため、集落と都市部の企業等が締結した協定の数	22年度 5地区	6地区	6地区	5地区	5地区	4地区	3地区	3地区	4地区		↘			県調査
		田舎暮らし相談者数	丹波市及び篠山市で実施している田舎暮らし案内に係る相談者数	—	—	—	327人	373人	439人	558人	559人	751人		↗			県等調査
		田舎暮らし体験施設の利用者数	空き民家活用による田舎暮らし推進モデル事業で整備した田舎暮らし体験施設の利用者数	—	—	2人	51人	52人	47人	33人	56人	29人		↗			県調査
	主観	住んでいる地域は、県内のどこへでも便利に移動できると思う人の割合		22年度 30.2%	29.7%	26.2%	35.2%	38.8%	30.9%	31.0%	34.5%	36.7%	39.0%	↗	60.0%	▼	県民意識調査
		Iターン者など、丹波地域以外の人を受け入れやすい環境だと感じる人の割合		—	—	—	33.0%	34.1%	36.0%	42.3%	33.8%	41.0%	36.2%	↗			県民意識調査(丹波)
		丹波地域の魅力が地域の内外にうまく情報発信されていると思う人の割合		—	—	—	27.4%	30.0%	29.3%	26.8%	23.6%	24.7%	20.1%	↘			県民意識調査(丹波)

※1：主観指標（平成30年）について、県下地域別で最高値のものは網掛、最低値のものは白抜きで表示

※2：基準年と最新年の比較は、平成22年度（統計結果が無い場合はその直近年度）と最新年度を比較し、向上を「↗」、低下を「↘」で表示。ただし、1%未満の変動は「→」で表示。

※3：全県値との比較は丹波地域の値が全県値より上位のものは「☺」、下位のものは「▼」で表示

(3) 元気(将来像3)

客観指標数16・主観指標数10 合計26

基本項目	指 標		【基準年】		平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	基準年と最新年	全県値との比較		出典	
	名称等	指標の内容	平成22年(度)		(度)	(度)	(度)	(度)	(度)	(度)	(度)	(度)	※1	※2	全県値	評価		
①地域をリードする「農林業」	客観	丹波黒大豆作付面積	丹波黒大豆の作付面積(市聞き取り)	22年度	720ha	703ha	710ha	734ha	750ha	737ha	696ha	733ha	656ha		↘			県調査
		丹波大納言小豆作付面積	丹波大納言小豆の作付面積(市聞き取り)	22年度	343ha	358ha	362ha	362ha	336ha	353ha	383ha	355ha	337ha		↘			県調査
		栗新植面積	栗を新たに植えた面積		—	4.5ha	12.5ha	18.2ha	20.4ha	21.7ha	23.8ha	26.8ha	29.3ha		↗			県調査
		新規就農者数	新たに就農した人の数	22年度	26人	30人	37人	25人	33人	40人	37人	30人	41人		↗			県調査
	丹波産素材生産量	丹波地域産の素材(丸太)の生産量(丸太の体積)	21年度	15千m ³	17千m ³	29千m ³	29千m ³	30千m ³	28千m ³	32千m ³	29千m ³	51千m ³		↗			県林業統計書	
	ため池改修着手数	ため池の改修に着手した箇所の数	22年度	117箇所	117箇所	117箇所	119箇所	119箇所	120箇所	121箇所	123箇所	128箇所		↗			県調査	
	主観	地元や県内でとれた農林水産物を買っている人の割合	22年度	69.1%	72.1%	66.5%	78.9%	76.4%	71.7%	71.9%	78.2%	73.9%	69.7%		→	68.5%	☺	県民意識調査
地元や県内の農林水産業に、活気が感じられると思う人の割合			—	—	—	16.6%	17.4%	16.5%	17.3%	17.8%	18.1%	17.2%		→	16.5%	☺	県民意識調査	
農林業(家庭菜園や里山体験などを含む)に魅力を感じる人の割合			—	—	—	56.2%	52.5%	49.5%	43.2%	53.2%	46.7%	43.8%		↘			県民意識調査(丹波)	
か②多様な魅力を生かす	客観	観光客入込数	期間内に丹波地域を訪れた観光客の数	22年度	4,416千人	4,467千人	4,638千人	4,319千人	4,304千人	4,455千人	4,482千人	4,655千人		↗			県調査	
		観光消費額	観光客が支出した交通費、宿泊費、土産品費、飲食費等の合計(推計)	22年度	329億円	326億円	331億円	326億円	329億円	342億円	350億円	354億円		↗			観光客動態調査	
	主観	住んでいる市・町に、観光などの訪問客が増えていると思う人の割合	22年度	21.8%	31.2%	26.3%	33.0%	39.8%	39.5%	30.0%	39.2%	34.8%	36.3%		↗	28.0%	☺	県民意識調査
		人に紹介したい観光資源(農産物、郷土料理、まち並み、自然、祭り、人情など)があるとと思う人の割合		—	—	—	65.1%	63.2%	65.8%	64.3%	64.4%	60.8%	58.9%		↘			県民意識調査(丹波)
③やりがいを感じる「しごと」	客観	高校生の地元就職率	就職した新規高卒者のうち、丹波地域内の事業所に就職した人の割合	22年春	57.9%	52.5%	50.9%	52.5%	51.7%	51.8%	49.0%	52.2%	54.9%		↘			県調査
		製造品出荷額等	製造品出荷額、製造工程から出たくず・廃物の出荷額、加工賃収入額及びその他収入額の合計	22年度	4,373億円	4,659億円	5,858億円	4,462億円	4,666億円	4,653億円	4,886億円	4,907億円	4,799億円		↗			工業統計調査
		商品販売額	年間の商品販売額(消費税を含む)	19年度	1,622億円	—	1,258億円	—	1,534億円	—	1,727億円	—			↗			商業統計調査
		有効求人倍率(原数値)	ハローワーク登録求職者(有効求職者数)に対し企業求人数(有効求人数)との割合を示す指標	22年度	0.59	0.71	0.75	0.85	1.04	1.20	1.32	1.51	1.62		↗			兵庫県の経済・雇用情勢
		就職フェアinたんば参加企業数	丹波地域の企業への就職面接会に参加した企業の数	22年度	35社	34社	35社	35社	34社	31社	36社	40社	36社		↗			県調査
		就職フェアinたんば参加者数	丹波地域の企業への就職面接会に参加した人の数	22年度	224人	170人	178人	133人	112人	38人	28人	27人	10人		↘			県調査
		企業紹介フェア参加企業数	高校生や大学生等向けの丹波地域の企業説明会に参加した企業の数	22年度	29社	29社	30社	31社	18社	26社	31社	31社	30社		↗			県調査
	企業紹介フェア参加者数	高校生や大学生等向けの丹波地域の企業説明会に参加した人の数	22年度	95人	127人	119人	73人	29人	40人	33人	26人	9人		↘			県調査	
	主観	自分のしごとによりやりがいを感じる人の割合	22年度	57.7%	68.3%	63.1%	57.2%	70.7%	64.4%	66.8%	70.4%	73.1%	69.7%		↗	62.2%	☺	県民意識調査
		商売、事業を新たに始めやすいと思う人の割合	22年度	12.8%	18.5%	14.7%	14.9%	16.4%	13.4%	6.5%	6.7%	5.6%	8.4%		↘	8.1%	☺	県民意識調査
自分にあった職業への就職や転職がしやすい社会だと思う人の割合			—	—	—	7.0%	6.1%	7.7%	6.5%	7.2%	6.4%	6.4%		→	10.4%	▼	県民意識調査	
性別や年齢を問わず、働きやすい環境が整っていると思う人の割合		22年度	5.6%	12.7%	5.4%	9.4%	6.1%	9.3%	7.4%	8.0%	8.0%	8.4%		↗	12.1%	▼	県民意識調査	
住んでいる市・町の企業には活気が感じられると思う人の割合		—	—	—	17.8%	14.7%	17.5%	13.7%	17.7%	23.2%	20.7%		↗	25.0%	▼	県民意識調査		

※1:主観指標(平成30年)について、県下地域別で最高値のものは網掛け、最低値のものは白抜きで表示

※2:基準年と最新年の比較は、平成22年度(統計結果が無い場合はその直前年度)と最新年度を比較し、向上を「↗」、低下を「↘」で表示。ただし、1%未満の変動は「→」で表示。

※3:全県値との比較は丹波地域の値が全県値より上位のものは「☺」、下位のものは「▼」で表示

(4) 絆 (将来像4)

客観指標数18・主観指標数9 合計27

基本項目	指 標		【基準年】	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	基準年と最新年の比較 ※2	全県値との比較 (R元 主観指標)		出 典		
	名 称 等	指標の内容	平成22年(度)	(度)	(度)	(度)	(度)	(度)	(度)	(度)	(度)	※1		全県値	評価 ※3			
① つながりのある「地域・家庭」	客観	小規模集落数	高齢化率40%以上かつ50世帯以下の集落の数	22年9月末 29箇所	33箇所	45箇所	50箇所	57箇所	72箇所	84箇所	100箇所		↘			県調査		
		三世同居世帯比率	三世が同一住居に住んでいる世帯の割合	22年 16.7%	—	—	—	—	13.5%	—				↘			国勢調査	
	主観	頼りになる知り合いが近所にいる人の割合		22年度 66.1%	75.1%	66.8%	71.5%	72.3%	73.1%	67.5%	70.4%	70.3%	74.4%	↗	65.2%	☺	県民意識調査	
		住んでいる地域で、異なる世代の人とつきあいがある人の割合		22年度 55.7%	62.1%	58.6%	67.7%	70.9%	71.7%	61.8%	65.4%	69.1%	71.9%	↗	52.7%	☺	県民意識調査	
		住んでいる地域にこれから住み続けたい人の割合		22年度 61.0%	70.4%	62.8%	72.0%	78.2%	71.1%	65.4%	75.5%	71.7%	74.3%	↗	77.9%	▼	県民意識調査	
		家族とのコミュニケーションがとれている人の割合		—	—	89.4%	86.4%	87.0%	82.5%	86.5%	90.0%	89.0%	→	87.4%	☺	県民意識調査		
② 地域ぐるみの「子育て」	客観	合計特殊出生率	一人の女性が一生に生む子どもの平均数	22年 1.60	—	—	—	—	1.54	—	—	—		↘			国勢調査	
		保育所等入所者数	保育所・幼保連携型認定こども園への入所者の数	22年10月 2,194人	2,152人	2,129人	2,234人	2,331人	2,527人	2,569人	2,568人	2,535人		↗			県調査	
		ファミリーサポートセンター会員数	地域で子育て支援を受けたい人で行いたい人が相互に援助活動を行う会員組織の会員数	22年度 485人	515人	544人	546人	555人	534人	554人	553人	566人		↗			県調査	
		延長保育・休日保育実施箇所数	通常の保育時間を超えて保育を行ったり、日曜日・祝日に保育を行っている保育所の数	22年4月1日 14箇所	18箇所	18箇所	15箇所	26箇所	20箇所	19箇所	19箇所	21箇所		↗			県調査	
		放課後児童クラブ数	保護者が就労等し家庭にいない児童を、放課後、保護者に代わって保育する施設等の数	22年4月1日 25箇所	26箇所	27箇所	27箇所	28箇所	29箇所	33箇所	33箇所	34箇所		↗			県調査	
		まちの子育て広場開設数	子育て中の親子が気軽に集い、仲間づくりを通じ子育ての相談や情報交換等を行う場の数	22年度 54箇所	55箇所	55箇所	54箇所	51箇所	47箇所	47箇所	46箇所	49箇所		↘			県調査	
		子どもの冒険広場の利用者数	小学生等が自主性を持って自由に遊び生きる力を育むために設置した場を利用した人の数	22年度 1,276人	3,535人	6,217人	6,062人	2,349人	3,815人	4,219人	7,372人	5,468人		↗			県調査	
		若者ゆうゆう広場の利用者数	中・高校生等が気軽に集い交流するために設置した場を利用した人の数	22年度 3,900人	4,100人	4,891人	4,646人	5,183人	4,480人	3,433人	3,008人	2,854人		↘			県調査	
	主観		子育て家庭応援推進員数	知事の委嘱を受け子育て家庭への見守りや声かけなどを行っている人の数	22年度 62人	62人	60人	60人	61人	61人	56人	56人	54人		↘			県調査
			子育て応援結核企業数	地域の子育て家庭の応援や従業員の子育て仕事の高立支援を進める協定を県と結核した企業等の数	22年度 51社	56社	61社	62社	61社	63社	64社	75社	72社		↗			県調査
③ 安心して暮らせ、活躍の場がある「高齢者」	客観	住んでいる地域では、心の豊かさを育む教育や活動が行われていると思う人の割合		—	—	—	39.3%	49.8%	47.5%	36.7%	49.8%	46.9%	49.4%	↗	36.9%	☺	県民意識調査	
		住んでいる地域では、子育てがしやすいと思う人の割合		—	—	—	52.7%	52.6%	51.3%	38.4%	54.0%	46.6%	47.4%	↘	55.4%	▼	県民意識調査	
		住んでいる地域の子どもは、伸び伸びと育っていると思う人の割合		22年度 69.8%	75.4%	71.1%	71.4%	70.4%	68.9%	68.6%	72.2%	70.0%	73.7%	↗	66.3%	☺	県民意識調査	
老人医療対象人員		65歳以上70歳未満の人の疾病・負傷について医療保険給付後、公費助成の対象となった人の数	23年2月末 1,067人	413人	436人	422人	421人	421人	396人	390人	309人		↘			社会福祉統計年報		
要支援・要介護認定率		介護保険第1号被保険者数(65歳以上)のうち要支援・要介護認定を受けた人の比率	23年1月末 16.7%	17.3%	17.7%	18.3%	18.7%	19.0%	19.4%	19.0%	19.3%		↘			社会福祉統計年報		
老人クラブ数		老人クラブの数	22年4月1日 273クラブ	270クラブ	261クラブ	255クラブ	232クラブ	220クラブ	219クラブ	196クラブ	205クラブ		↘			県調査		
主観		シルバー人材センター就業延べ人員	県内のシルバー人材センターで就業した会員の就業延べ人数	22年度 105,512人	104,721人	91,683人	93,719人	94,535人	131,501人	111,019人	109,683人	110,393人		↗			兵庫県シルバー人材センター協会調べ	
		高齢者の就業率	65歳以上の人口に占める就業者数の割合	22年 25.7%	—	—	—	—	29.2%	—	—	—		↗			国勢調査	
		丹波OB大学受講者数	高齢者の学習と交流機会、魅力ある地域社会の実践者を要請する大学で受講した人の数	22年度 181人	179人	211人	230人	245人	242人	225人	223人	201人		↗			丹波の森公園施設	
		住んでいる地域は、高齢者にも暮らしやすいと思う人の割合		—	—	—	47.5%	40.9%	43.3%	35.7%	40.2%	39.3%	37.4%	↘	48.3%	▼	県民意識調査	
		高齢者の知恵や経験が積極的に活用されていると思う人の割合		—	—	—	31.4%	24.7%	23.4%	28.6%	25.5%	26.9%	23.2%	↘			県民意識調査(丹波)	

※1: 主観指標(平成30年)について、県下地域別で最高値のものは網掛、最低値のものは白抜きで表示

※2: 基準年と最新年の比較は、平成22年度(統計結果が無い場合はその直前年度)と最新年度を比較し、向上を「↗」、低下を「↘」で表示。ただし、1%未満の変動は「→」で表示。

※3: 全県値との比較は丹波地域の値が全県値より上位のものは「☺」、下位のものは「▼」で表示

(5) 安全安心(将来像5)

客観指標数15・主観指標数16 合計31

基本項目	指 標		【基準年】	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	基準年と最新年の比較 ※2	全県値との比較 (R元 主観指標)		出 典	
	名 称 等	指標の内容	平成22年(度)	(度)	(度)	(度)	(度)	(度)	(度)	(度)	(度)	※1		全県値	評価 ※3		
①誰もが暮らしやすい「社会」	客観	就労移行支援事業者数、就労継続支援A型・B型事業者数	障害のある人が就労に必要な知識・能力向上のために訓練等を行っている事業者の数	22年2月末 10箇所	13箇所	13箇所	13箇所	14箇所	15箇所	14箇所	17箇所	21箇所		↗		県調査	
		女性の就業率	女性の15歳以上人口のうち、就業している人の割合	22年 47.6%	—	—	—	—	50.2%	—	—	—	—		↗		国勢調査
		自殺数	自殺をした人の数	22年 19人	31人	33人	28人	26人	15人	27人	20人	20人	20人		↘		保健統計年報
		産業廃棄物の大規模不法投棄事案(投棄量)	産業廃棄物の不法投棄事案のうち1件当たりの投棄量が10トン以上の事案	22年度 318t	47t	234t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t		↗		県調査
		消費生活相談件数	市消費生活センターが受け付けた消費生活相談の件数	22年度 600件	623件	610件	769件	796件	680件	672件	567件	667件	667件		↘		県調査
		交通事故死傷者数	車両等による事故で死亡・負傷した人の数	22年 656人	671人	719人	694人	598人	511人	519人	511人	402人	402人		↗		県調査
		街頭犯罪・侵入犯罪認知件数	警察に認知された街頭犯罪・侵入犯罪の件数	22年 598件	497件	501件	477件	385件	427件	766件	554件	467件	467件		↗		県調査
		男女共同参画社会づくり協定締結事業所数	男女共同参画の取組を進める協定を県と締結した事業所の数	22年度 63社	66社	70社	71社	72社	74社	76社	78社	81社	81社		↗		県調査
	主観	住んでいる地域は買い物や通院に便利だと思う人の割合		22年度 39.7%	34.0%	30.6%	38.5%	37.7%	30.1%	33.0%	34.9%	31.0%	36.6%	↘	60.3%	▼	県民意識調査
		不当な差別がない社会だと思う人の割合		22年度 25.3%	30.6%	31.1%	49.7%	35.9%	31.2%	33.3%	37.9%	33.9%	32.3%	↗	28.4%	☺	県民意識調査
		住んでいる地域は、障害のある人にも暮らしやすいと思う人の割合		—	—	—	26.6%	26.0%	26.9%	23.0%	23.2%	23.3%	21.1%	↘	26.8%	▼	県民意識調査
		若者が希望を持てる社会だと思う人の割合		22年度 4.9%	4.4%	5.4%	11.3%	10.7%	10.1%	8.2%	11.6%	11.6%	13.2%	↗	12.3%	☺	県民意識調査
		住んでいる市・町の駅前や商店街に、活気が感じられると思う人の割合		22年度 5.6%	8.1%	4.1%	8.6%	7.2%	4.7%	5.1%	7.9%	7.7%	6.3%	→	23.2%	▼	県民意識調査
		住んでいる地域の公共交通は便利だと思う人の割合		22年度 14.1%	16.7%	11.7%	17.5%	23.6%	18.1%	11.6%	12.3%	10.5%	13.5%	→	52.6%	▼	県民意識調査
②守り育てる「健康・地域医療」	客観	健康寿命	日常的に介護を必要としないで、自立した生活ができる生存期間	男性77.86年 女性83.12年	—	—	—	—	—	平成27年 男性79.22年 女性84.20年	—	—		↗		健康づくり推進実施計画	
		人口10万人あたりの医師数	丹波地域の医師の数を10万人あたりに置き直した数	22年12月末 165.7人	—	175.0人	—	177.9人	—	194.1人	—	—	—		↗		医師・歯科医師・薬剤師調査
		人口10万人あたりの病床数	丹波地域の病床数を10万人あたりに置き直した数	22年10月1日 1,454.7床	1,458.5床	1,472.0床	1,448.6床	1,505.4床	1450.8床	1459.6床	1475.6床	—	—		↗		医療施設調査
	主観	かかりつけの医者がある人の割合		22年度 69.1%	73.9%	72.2%	74.0%	70.6%	78.6%	70.5%	75.7%	81.2%	80.3%	↗	71.9%	☺	県民意識調査
心身ともに健康であると感じる人の割合			22年度 58.2%	58.7%	57.5%	71.1%	66.2%	69.2%	62.4%	66.4%	66.5%	68.5%	↗	64.8%	☺	県民意識調査	
③安全・安心に暮らせるための「備え」	客観	まちづくり防犯グループの組織率	自治会の区域を活動区域として自主的に地域安全のまちづくり活動に取り組む団体数が自治会数に対して占める割合(カバー率)	22年度 97.1%	97.1%	97.7%	97.7%	97.7%	100%	100%	97.7%	97.7%		→		県調査	
		地域安全まちづくり推進員の委嘱数	知事の委嘱を受け犯罪防止や犯罪を招く環境を改善する活動を行っている人の数	22年度 50人	54人	50人	44人	40人	45人	46人	46人	42人	42人		↘		県調査
		兵庫県住宅再建共済制度加入率	災害発生時に被害を受けた住宅の再建・補修を支援する制度に加入した割合	22年度 12.4%	12.9%	12.8%	13.0%	13.6%	13.7%	13.7%	13.6%	13.6%	13.6%		↗		県調査
		ひょうご防災リーダー養成者数	地域・職場の防災活動の担い手となるリーダー養成のための講座を受講し、修了した人の数	22年度 36人	43人	88人	90人	93人	96人	122人	130人	137人	137人		↗		県調査
	主観	住んでいる地域は治安が良く、安心して暮らせると思う人の割合		—	—	—	88.9%	86.0%	79.5%	80.1%	86.5%	78.9%	87.4%	↘	79.4%	☺	県民意識調査
		住んでいる地域では、住民による登下校時の見守り・夜間パトロールや街灯整備などの安全・安心を守る取り組みが行われていると思う人の割合		22年度 79.2%	80.0%	74.7%	75.3%	72.3%	68.6%	73.4%	76.5%	71.7%	76.1%	↘	67.9%	☺	県民意識調査
		住んでいる地域の災害に対する備えは、以前より確かなものになっていると思う人の割合		—	—	—	31.7%	39.4%	39.1%	33.9%	39.6%	36.6%	42.5%	↗	34.0%	☺	県民意識調査
		住んでいる地域で、災害に備えた話し合いや訓練に参加している人の割合		—	—	—	34.0%	43.3%	48.9%	35.2%	42.0%	36.7%	44.4%	↗	25.6%	☺	県民意識調査
		家庭で災害に対する自主的な備えをしている人の割合		—	—	23.9%	31.2%	35.3%	34.7%	28.1%	42.1%	38.3%	32.5%	↗	40.8%	▼	県民意識調査

※1: 主観指標(平成30年)について、県下地域別で最高値のものは網掛、最低値のものは白抜きで表示

※2: 基準年と最新年の比較は、平成22年度(統計結果が無い場合はその直前年度)と最新年度を比較し、向上を「↗」、低下を「↘」で表示。ただし、1%未満の変動は「→」で表示。

※3: 全県値との比較は丹波地域の値が全県値より上位のものは「☺」、下位のものは「▼」で表示

■ビジョン委員会の活動成果を測る指標

アウトプット指標 12・アウトカム指標 6 合計18

	グループ名	活動内容	指標	基準年	30年度	元年度	備考	
自立	発見「食」丹波	地域の”MOTTAINAI”食材の活用(栗:ペースト状加工品の開発、茶:寒茶の活用、柿:地域で収穫しきれない柿を都会の子ども食堂へ提供 等)		○実践活動の参加人数	—	200人	グループ調査	
				○マスメディアへの掲載(新聞記事等)実績	—	3件	グループ調査	
				●住んでいる地域をより良くしたり、盛り上げたりする活動に参加している、またはしたい人の割合	43.5%	49.0%	49.4%	県民意識調査(丹波)
交流	つなぐ	丹波篠山・丹波両市境の「金山」をフィールドに、2020年NHK大河ドラマ「麒麟がくる」の放映決定を契機とする、人や地域をつなぐ交流事業		○実践活動の参加人数	—	324人	グループ調査	
				○マスメディアへの掲載(新聞記事等)実績	—	12件	グループ調査	
				●住んでいる市・町に、観光などの訪問客が増えていると思う人の割合	21.8%	23.2%	36.3%	県民意識調査
元気	建築学校プロジェクト	若手工務店を中核に、古民家等を“学校”として、文化/景観/産業等の背景を含めた建築について世界の学生が学べる場を立ち上げるプロジェクト		○実践活動の参加人数	—	207人	グループ調査	
				○マスメディアへの掲載(新聞記事等)実績	—	5件	グループ調査	
	休耕田を活かそう!	通常の耕作放棄地対策では置き去りにされがちな、山際、機械が入りにくいなど耕作条件の悪い場所での対策の試行(ソバ・山椒の栽培、クローバーでの草抑え等)		○実践活動の参加人数	—	66人	グループ調査	
				○マスメディアへの掲載(新聞記事等)実績	—	0件	グループ調査	
絆	高齢者の生きがいづくり	誰もがいつまでも生き生きと暮らせる地域をめざす、健康体操講座の開催や、認知症啓発冊子の作成、コミュニティカフェの事例研究等		○実践活動の参加人数	—	54人	グループ調査	
				○マスメディアへの掲載(新聞記事等)実績	—	0件	グループ調査	
	安全安心	ほっとねっと輪一く	生きづらさを抱える人のための相談窓口マップの作成や学習会、自治会等の集会の場を活用した防災・防犯・男女共生等の啓発活動		●住んでいる地域で、異なる世代の人とつきあいがある人の割合	55.7%	69.1%	71.9%
○実践活動の参加人数					—	692人	グループ調査	
				○マスメディアへの掲載(新聞記事等)実績	—	1件	グループ調査	
				●住んでいる地域で、災害に備えた話し合いや訓練に参加している人の割合	34.0%	36.7%	44.4%	県民意識調査

○:アウトプット指標(活動そのものの成果を測る指標) ●:アウトカム指標(活動による地域の変化等をとらえる指標)